

アプリのこと

平成30年1月25日発行
つどいの家・アプリ編集
〒982-0816
仙台市太白区山田本町3-20
TEL 022-743-1882
FAX 022-743-1883



Smiles & Gentleness



今月の表紙は、バジルグループの阿部拓野さんです。12月14日に44歳のお誕生日を迎えられたことを一つの節目としてアプリを退所され、現在は「エコ療育園」さんでの新しい生活をスタートしました。3年9か月の間、たくさんの笑顔（Smile）と優しさ（Gentleness）をありがとうございました。拓野さん、またお会いしましょうね!!!!

ひとりごと ～今年の抱負～

平成 30 年、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、私事ですが、今年本厄を迎えました。厄年（前厄・本厄・後厄）とは、厄災が多く降りかかるとされる年齢のことで、科学的な根拠は不確かではありますが、平安時代にはすでに風習として存在したそうです。前厄の昨年は、運転時に信号待ちで停車中に衝突事故にあったり、急な車線変更車に出くわしたり、危険を感じるできごとが次々に起きました。その都度、免許取り立ての時に感じていた「初心忘るべからず」という言葉を胸に刻みました。

先日、とある番組で、羽生善治さん（将棋）が「初心忘るべからずって言葉があるじゃないですか。あれって別に始めたときの気持ちということではなく、『その時々初めて』という意味がある。例えば将棋を始めた時の気持ちとかプロを目指した気持ちとか、ターニングポイントみたいなところでの気持ちを忘れない、というのがいいのではないか」というコメントを耳にしました。

確かに、最初感じた気持ちを大切にすることはなく、その時々最初の気持ちを忘れないことが大切で、一つに限らず、複数にそういった気持ちを持つことが大切なのだと羽生さんのコメントを聴いて感じました。「初心忘るべからず」、平成 30 年を乗り切りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（記：大累）



サンタさんが来てくれました！！



昨年度に続き、今年度もイオンスーパーセンター鉤取店さんから素敵なサンタさん達がアプリに来てくれました！！利用者みなさんも前日から「明日はイオンサンタだ、楽しみ♪」と心待ちにしている様子でした。当日はクリスマスソングをみんなで歌ってイオンサンタさんの到着を待ち、ついにサンタさんが来ると、とても嬉しそうな表情をしていました(#^.^#)

一人ひとりプレゼントをいただき、大事そうにプレゼントを抱える方や「中身はなんだろう？」とワクワクしている方などみなさんクリスマスの雰囲気を楽しんでいました。

イオンサンタさん、素敵なプレゼントをありがとうございました！！（記：佐藤（愛））





新年を迎え、これからどのような一年にしていくのか、みなさん希望が膨らみますよね。新しい一年に向け、各グループの利用者のみなさんに抱負をインタビューしました。

ミントグループは、昨年成人を迎えた高橋桃子さんにインタビューをしました！！

Q：成人おめでとうございます！2018年はどんなことをしたいですか？

A：職員の「新しいことに挑戦する」という言葉をきいて、笑顔で何度も手を挙げていた桃子さん！

新しい体験をたくさんしながら、楽しいことをしていきましょう！



カモミールグループより、八木泰暉さんにインタビュー！

Q：2018年頑張りたいこと、やりたいことはありますか？

A：お出かけしたいですね。

Q：どこにお出かけしたいですか？

A：街（仙台）とかお出かけしたいですね。

バジルグループからは、インタビュー当日（12/22）にお誕生日を迎えた、佐藤由理さんに2018年の抱負をインタビュー！

Q：お誕生日おめでとうございます。2018年は何をしたいですか？

A：東京ディズニーランドに行って、ミッキーマウスの肩もみ！



ジャスミングループは、高橋晋太郎さんにインタビュー！！

Q：2018年はどこに出かけましょうか？

A：おでかけ、太白山！車！

今年も頂上登山、頑張りましょう☆車に乗っての外出もたくさんしましょう♪

B's LIVE-GYMへ

会いましょう！

来年、幸せになってほしいです！

作業を始めてがんばろう！

がんばって、車屋をはじめガモル仙台へ

出会ってほしいです！

K.OOYAMA



クレソングループでは、大山健太さんに2018年の抱負を書いてもらいました！2018年も夢に向かって前進していきましょう！！



グループ合同温泉外出



11月30日にミントグループの高橋桃子さん、カモミールグループの加納愛美さん、吉田真紀さんで秋保の『華乃湯』さんへ行ってきました。クリスマスの飾り付けがされた館内を移動して、いざ大浴場へ！温泉の常連の愛美さんと真紀さんは、テキパキ着替えて、「一足お先に」と先陣を切って気持ち良さそうに温泉を満喫。学校を卒業してから温泉は初めてという桃子さんは少し緊張していましたが、お風呂に入ろうとした時に他のお客さんが「来て良かったね、楽しんでね！」と笑顔でドアを開けてくれました。優しい対応と温泉で心も身体も温まり、リラックスしていました。露天風呂では寒い空気を肌で感じつつ、外の景色を楽しんでいました。入浴後はソファに座ってコーヒーで一服したり足つぼマッサージ機を体験したりと、短い時間の中で旅館の雰囲気を味わった3人でした。楽しい時間はあっという間で、「またみんなで来たいですね！」とお話をしながら帰ってきました。これからも積極的に外出することで、しょうがいへの理解を広めると共に、みんなが生活しやすい社会にしていきたいです。（記：坂本）



仙台フィル管弦楽団コンサート



11月23日にバジル・ローズグループの星佑香さんと福田詩穂衣さんが、名取市文化会館で行われた仙台フィル管弦楽団のコンサートを鑑賞してきました。会場に入ると、受付の方が親切に車椅子の場所に誘導してくださり、スムーズに入場することができました。会場に入ると張り詰めた空気が全体を覆っていましたが、コンサートが始まり流麗な旋律が流れてくると、会場全体が笑顔になり、佑香さんは笑顔で曲に合わせて身体を上下左右に揺らし、詩穂衣さんも笑顔で声を出し聴いていました。会場を出る時には周囲にいた方が「きれいな演奏だったね。」、案内の方が「また来てくださいね。」と声を掛けてくださり、みなさんの温かさに接することができた一日外出でした。（記：笹原）





リーの会研修に参加しました！



12月1日に重症心身しょうがい児者の地域生活を進め支援する会（通称：リーの会）施設長・職員合同研修会に参加しました。横浜市にある生活介護事業所「朋」と横浜医療福祉センター港南の研修報告、リーの会保護者懇談会の内容報告、そして行政との懇談会が行われました。懇談会では、「共生型サービス」というサービス形態についての説明がありました。共生型サービスとは、「同一の事業所で一体的に介護保険と障害福祉のサービスを提供する取組み」です。目指す方向性は同じでも、これまで培ってきた歴史と制度や、求められている専門性が異なることもあるので、共に事業を進めていくには長い時間が掛かると思います。

午後からは「全国手をつなぐ育成会連合会」から田中雅博氏をお迎えし、「しょうがいのある方の人権を考える～幸せを実感できる支援」という内容の講演が行われ、しょうがい保健福祉施策の歴史について聞かせていただきました。みなさん「2025年問題」という言葉をご存じでしょうか？2025年には5人に1人が75歳以上となる超高齢社会を迎え、今までにあった税収が見込めなくなることに加え、医療・福祉・介護サービスの需要が高まることで社会保障財政のバランスが崩れると予測されています。福祉・介護サービスが抱える将来的な問題を考えるうえで、共生型サービスも一つの方法ではあると思いますが、具体的にどのように進めていくのか、改めて行政に届けていく責任があると同時に連携を密にする必要性を感じました。

まず私たち福祉に関わる者ができることは、日中活動で積極的に外出し、地域の方々にもこのような課題を抱えていることを伝えていくことだと思います。

（記：押切）



会長あいさつ 国見はげみホーム 塚本施設長



社会福祉法人つといの家 25周年式典



社会福祉法人つといの家は1992年に法人格を取得し、今年度で25年を迎えます。法人設立25周年を記念して11月18日に記念式典を盛大に開催し、法人と関わりのある約210名の方々に出席していただきました。

記念式典では、これまでの歩みを映像で振り返る「つといの家の歩み」、シンポジウムとして「重いしょうがいがあっても地域で生きるを支援する」をテーマに下郡山和子理事長の進行で社会福祉法人「訪問の家」前理事長で横浜市栄区社協会長の日浦美智江さん、社会福祉法人「さざんか会」宮代隆治理事長、厚生労働省の黒田秀郎さんにご登壇いただき、昔話や各地域での実践などをお話ししていただきました。シンポジウム後に「ミライヘノコトバ」として今後の社会福祉法人として法人に課せられた役割を映像で示しました。式典後は、全国から集まった方々と懇親会を行い、とても有意義な時間を過ごしました。

法人としてこれまでの25年間を走り続けた想い、希望、夢を忘れず、これから先も利用者、ご家族、地域の方々と共に一歩ずつ着実に歩み、「ミライヘ」進んで行きたいと思っております。ご多忙の中お越しくださった皆さまありがとうございました。

（記：高杉）



「人は人に支えられて」

長女が入所している施設の職員に、ある朝「お母さん、ちあきさんが昨夜Kさんの部屋の入り口に座っていたんですよ」と伝えられ、びっくり仰天した。

そもそも娘は、一人ではドアを開けられないのだが、ドアに身を寄せて身体をよじった時に開いたのだろうか？それから、どのようにしてKさんの部屋に行ったのだろうか。

Kさんの話によると、自室から出た娘がゆっくりあてもなく歩き始めたのをみたので、「ちあき！ちあき！」と声を限りに呼んだのだという。すると、娘は呼んでくれたKさんの声に引き寄せられるように、Kさんの部屋の入り口まで来たので、今度は「座って！座って！」と手で指さし示すと座り込んだとか。車椅子のKさんが、そうやって娘を守ってくれたのだ。

私の知らないところで、アプリでも、職員はもとより、利用者の仲間にも娘はいつも支えてもらっているのだろう。

「ありがとう」も「お世話様」も言えない娘だが、満面の笑みが感謝の気持ちのお返しである。

(記：アプリ保護者 阿部悠紀子)

カフェに行ってきました♪♪

「おしゃれでおいしいシフォンケーキのお店があるよ！」と保護者の方からお話を伺い、今年度何度もお世話になっているお店があります。名取にある、「Miu-kitchen(みゆきっちゃん)」さんです。ふわふわの生地に、たっぷりの生クリームが絶品で、利用者、職員共々毎回買いに行くのが楽しみです。お店の雰囲気もとても温かく、いつも笑顔のすてきな店主さんが迎えてくださいます。

カフェに行き、お茶をする。ケーキを「おいしいね、かわいいね」と楽しみながらいただく。しょうがいの有無に関わらず、生活の1ページの彩りを豊かにする経験を、これからもたくさん共有していきたいなと願ってやみません。すてきな時間を過ごせる Miu-kitchen さんに、みなさんは是非足を運んでみてくださいね♪

(記：榊原)



Miu-kitchen

住所：名取市手倉田字山 162-10

電話：022-796-7734

ホームページ：

<http://miu-kitchen.com/>

編集後記 新年明けましておめでとうございます。2018年もつどいの家・アプリを何卒宜しくお願い致します。2018年はスポーツイヤーですね！！2月からは平昌オリンピック・パラリンピックと世界的な大イベントがありますよね。また、6月にはサッカーW杯ロシア大会があります。私は今から胸が躍り、ワクワクが止まりません！みなさんも、ぜひ一緒に応援してくださいね♪♪

(記：佐々木)